

開講年度	令和8年度	開講課程	博士課程
授業名	感染症学特論		
開講キャンパス	紀三井寺	教室	基礎教育棟3階講義室3 中講義室303
科目区分	専門科目	配当年次	1年次
必修・選択の別	選択	単位	1単位
対象学生	—	使用言語	日本語
キーワード	院内感染、感染免疫、HPVワクチン、Vaccine preventable disease (VPD)、ヒトレトロウイルス感染症、肺炎、尿路性器感染症		
担当教員 (下線：科目責任者)	医	教授 小泉祐介、教授 園木孝志、教授 柑本康夫、教授 保富宗城、講師 早田敦志、准教授 島 友子、教授 井篁一彦	
	薬		
授業の概要	新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大など、昨今新たな感染症への対策の重要性がますます増している。本講義では、新型コロナウイルス感染症を含めた様々な感染症について理解を深め、新たな感染症の予防や治療に関する高度な研究能力を身につける。		
到達目標	<input type="checkbox"/> 細菌・ウイルス・真菌・原虫などによる感染症の病態を理解し、臨床における問題を提示できる能力を修得する。 <input type="checkbox"/> 感染制御の基本である標準予防策・経路別感染予防策・消毒滅菌・環境清掃・医療関連感染症について理解する。 <input type="checkbox"/> ウイルスと細菌の相互作用、宿主と病原微生物の相互作用を理解し、感染免疫に関する研究仮説を立てることができる。 <input type="checkbox"/> HPV感染と子宮頸がんの発生、小児の主な感染症についての知識を修得し、ワクチン接種の重要性・有用性を理解する。 <input type="checkbox"/> HTLV-1、HIVの感染経路及び予防法を学ぶとともに、感染がもたらす病態とその治療法を理解する。 <input type="checkbox"/> かぜ症候群、インフルエンザ、肺炎などについて理解し、感染症の予防や治療に関する高度な研究能力を身につける。 <input type="checkbox"/> 尿路性器感染症についての病因、診断法、治療法についての知識を修得する。		

授業計画	<p>1. 2. 臨床感染制御学1・2：臨床感染症学・感染制御学（小泉祐介／2回） 【9/2 6限・7限】 上記に関する知識・実践すべき事項についてそれぞれ講述する。</p> <p>3. ヒトレトロウイルス感染症（園木孝志／1回）【9/9 6限】 代表的なレトロウイルス感染症である成人T細胞白血病と後天性免疫不全症について、原因ウイルスの特長・感染経路・予防・治療を講義する。</p> <p>4. 尿路性器感染症（柑本康夫／1回）【9/9 7限】 尿路性器感染症の病因、診断、治療について解説する。</p> <p>5. 病原微生物の保菌・感染・伝播における感染免疫応答（保富宗城／1回） 【9/30 7限】 病原微生物の保菌・感染・伝播について、ウイルスと細菌の相互作用、宿主と病原微生物の相互作用を解説し、感染免疫に関する理解を深める。</p> <p>6. 呼吸器感染症（早田敦志／1回）【9/16 6限】 呼吸器感染症はかぜ症候群、インフルエンザ、肺炎、肺膿瘍、肺結核、肺非定型抗酸菌症など多岐にわたる。中でも肺炎は日本の死亡原因の上位を占める。本講義では、日常臨床で遭遇することの多いかぜ症候群、インフルエンザ、肺炎、肺膿瘍、また注意が必要な肺結核について解説する。</p> <p>7. 小児の感染症（島 友子／1回）【9/16 7限】 免疫機能未成熟な小児特有の感染症についての、ワクチンで予防できる疾患（VPD）を中心とした講義を行う。</p> <p>8. 子宮頸がん予防におけるHPVワクチン研究の基礎と応用（井篁一彦／1回） 【9/30 6限】 ヒトパピローマウイルス（HPV）感染による子宮頸がんの発生機序について解説し、HPVワクチンによる子宮頸がん予防の重要性について考察する。</p>
授業の方法・形態	講義を中心とする。 遠隔会議システムを利用した同時配信を行う。
使用するメディア	パワーポイント等によるスライド資料を使用する。
成績評価の基準	授業への取組20%（発問に対する応答や発言内容、主体的・積極的な受講姿勢）及びレポート80%によりS（90点以上）、A（80～89点）、B（70～79点）、C（60～69点）、D（59点以下）の5段階で評価し、C以上を合格とする。
授業時間外の学修に関する指示	教科書・参考書が指定されている場合は予習を行うとともに、各回終了後には復習を行うこと。そのほか、各担当教員の指示に従うこと。
オフィスアワー（学生からの質問事項等への対応）	担当教員により異なるため、希望する場合はメール又は電話により予約すること。
教科書・参考書	<p>【教科書】 授業計画1・2 「Mandell, Douglas, and Bennett's Principles and Practice of Infectious Diseases, 9th edition」 著者：John E. Bennettら 出版社：Elsevier</p> <p>授業計画3～8 特に指定しないが、担当者が作成した資料を配布する。</p> <p>【参考書】 授業計画1・2 「Clinical Microbiology Reviews」 出版社：American Society of Microbiology Press</p> <p>授業計画4 「標準泌尿器科学」 編集：市川智彦、久米春喜 出版社：医学書院</p> <p>授業計画5 「Infection and Immunity」 出版社：American Society of Microbiology Press</p>